

# 未来をひらく会ちくま

～千曲市男女共同参画推進連絡協議会情報～

発行 千曲市大字寂蒔1238番地7  
 会長 大澤 洋子  
 TEL：026-273-4067

千曲市男女共同参画推進連絡協議会の大きな事業の「平和のつどい」を7月22日戸倉創造館で開催いたしました。多くの市民の皆様に参加していただき、「教育と愛国」の映画鑑賞と意見交流を行いました。

今まで戦争の悲惨さを子どもたちに伝え続けてきましたが、今年は現実を見抜き、戦争が起こらないように考える企画にしました。

開会式では小川市長から御祝辞をいただきました。第三次千曲市総合計画で平和についての取り組みを掲げており、行政としても進めていくことが話されました。



▲開会式の様子



▲意見交流での発言

アンケートでは、  
 ○教育への現実的な政治の介入（歴史教科書）の状況について知ることができ、考えさせられた。  
 ○戦争をどうすればさけられるかを考え続けることが大切。  
 ○戦争のない日常生活の中で、命と人々のくらしが守られる日本の平和が続いてほしいし、全世界でもそうあってほしい。  
 などの意見がたくさん寄せられました。

千曲市平和・安全都市宣言において、地球上からすべての戦争をなくすこと、地域家庭から犯罪・暴力をなくすことは全ての市民の願い、世界の恒久平和と市民生活のあらゆる面において安全を確保するためとしています。

いまだロシアによるウクライナ侵略が止められず心が痛みます。平和であり続けるための努力を積み重ねたいと思います。

平和のつどい最後に、大会宣言をいたしました。裏面に掲載しましたので、ご覧ください。

**訂正**

第16号「未来をひらく会ちくま」の、千曲市男女共同参画推進連絡協議会 構成団体の表に脱字がありました。訂正しお詫びいたします。正しくは「全国で」です。

No.	団体名	理事者	活動内容
8	千曲市連合婦人会	鎌田 恵子	千曲市連合婦人会は、全国で組織されている伝統ある会です。女性の社会的地位の向上に努め、明るい地域社会づくりに寄与することを目的として活動しています。



## 「平和のつどい」大会宣言

1945年8月、東京大空襲そして沖縄戦や広島・長崎への原爆投下、満州での悲劇など、国内外に想像を絶する惨事をもたらした第二次世界大戦に敗れ、戦争と決別した道を歩み始めてから78年目の夏が巡ってきました。この間、私たちは「戦争はしない 武器は持たない」という平和憲法の本質のもと恒久平和を念願し、国際平和を誠実に希求すると決意しそのための努力をしてきました。

しかし今、国内では沖縄が中国・台湾情勢を背景に、再び戦場となる現実味を帯びていると報じられ、又政府は5年間で43兆円という防衛予算をくみ、財源確保の特別措置法を6月16日成立させました。

一方、2022年2月突如始まったロシアによるウクライナ侵攻は、1年5ヶ月が経過し、多くの人々が、1日も早い停戦の実現を願っていますが、昨年世界の軍事費は過去最高の300兆円と報じられ、ロシアやウクライナへの各国の武器供与により、ますます停戦のきざしは見えない憂慮すべき事態が続いております。

このような今ほど、武力による戦争ではなく、対話による平和外交が強く望まれます。

本日、私たち千曲市男女共同参画推進連絡協議会では

～戦争の時のことを 知らない世代に伝えよう～  
《戦争はしない 平和に生きる そして男女平等を実現する》

のサブタイトルのもとに、「第16回 平和のつどい」を開催しました。

「教育と愛国」の映画は、日本が軍国主義へと向かってしまった反省から、戦後の教育は政治と常に一線を画することを重視してきましたが、昨今この流れは大きく変わりつつあり“教育現場”に迫る危機をドキュメンタリーで描いています。この映画を通して私たちは考えを深め、対話による意見交流ができました。戦争というのは、兵士だけでなく子どもや女性すべての人達が甚大な被害をこうむります。

私たちは男女平等をめざし、世界のすべての人々に「平和」な世界が訪れることを祈り今後も世界の恒久平和への運動を進めることを誓い、ここに宣言いたします。

2023（令和5）年7月22日  
千曲市男女共同参画推進連絡協議会